



# みやこしかおるの緊急政策

討議資料

## 新のびか J 2024 プラン

間違った市政のかじ取りをとり戻す！

# 今すぐ市政の立て直しを！

今のままの市政では上越市の発展・飛躍はあり得ません！

宮越 馨

市議会議員

元上越市長2期・元新潟県議会議員1期  
渡辺美智雄代議士秘書・大蔵省(財務省)主計局主査  
中央大学卒・高田高校卒・三郷小中学校卒

■座右の銘: 忘己利他・先行後私

私は、新幹線を実現させました！財政基盤強化の火力発電所も実現させました。  
あとは、子・孫を育てやすく生まれやすく・長生きできるまちづくりです！  
次は、高卒までの子育て費用・医療費・学費を全額無料化に挑戦します！  
そして安心で安定しためくもりのあるまちをつくることです。  
高齢者も安心して社会が持続できる仕組みのコミュニティを大切に、  
個から集合体システムで地域を守る「コミュニティカンパニー」の創設を進めます。

市長は地元出身者から



## 私の信念

私は、常に上越市の発展を願い、いかにしたら実現できるかを念頭に置き、全国に誇れるまちづくりを目指し、そして困っている人々のための政治を断行することを信念としています。

—大蔵省(現財務省)退官以来39年間—  
そのためには政策が第1です。

政策に生きるみやこしかおるは必ずやり遂げます！

—挑戦・打破・創造—

決断と実行!!

## 子ども年金

私の子ども年金制度の考えが、国に認められたことを受けて  
**全国初の「子ども年金」の給付に全力で取り組みます。**  
狙いは:子を3人以上持ちたい家族が、経済的な理由で持てない場合に、大胆に月額1人当たり5万円(何人でも可)を給付することにより、結果的に出生数が増えるという制度です。

子ども年金の実施

かがやき号の停車

高田城柵形門の復元

労災病院を存続

直江津駅前再開発

大合併の見直し

ナースコールタウン

上沼道早期完成

火力発電所1基増設

IT高等専門学校

多目的ドーム

高校生支援強化

米価2万円

春日山城総構え

カーボンニュートラル

ふるさと市民制度

## 以下は私が上越市の発展に取り組む緊急課題です！

まずは！緊急:地震・津波対策を万全に取り組みます。

- 大雪時・津波・原発事故を想定した防災訓練の見直しを進めます。
- 建物耐震基準を2000年基準へと普及実施するための対策を強化します。
- 直江津・谷浜海岸及び河川(関川・保倉川)の堤防の嵩上げを整備するとともに、新たに国へ直江津海岸における潮位計器の設置を求めます。
- 津波避難方法を見直すとともに、津波ハザードマップを見直します。
- 防災無線の停電対策を含む身近で情報キャッチしやすい防災行政無線体制を改善します。
- 旧古城小学校を三世代交流施設に改装し、津波避難所(場所)を整備するとともに、防災学習施設を整備します。
- 学校等公共避難所のカギの開閉及び河川の樋門(マリナーを含む)の開閉を自動化します。
- 港町1丁目に特定公共賃貸住宅を、津波避難所(場所)機能を付し1棟建設します。

- 被災地のトイレ事情を解決するための「トイレカー」の導入(備蓄)を進めます。
- 地震時火災発生防止策として「感震ブレーカー」の設置の無料化を進めます。
- 官民連携による緊急避難所のネットワーク態勢を整えます。
- 首都圏など遠隔地自治体との災害時緊急応援体制のネットワーク化を進めます。
- 緊急災害援助隊としての自衛隊高田駐屯地との連携協力体制の強化を図ります。
- 自助・共助・協働を原則として地域防災力を高める「防災士」制度を充実します。
- 被災復興支援のための地震保険への加入促進政策を進めます。加入保険料の減免措置を講じます。
- 水道管の老朽化・耐震化対策をスピードアップさせます。
- 万が一の災害に備えて、災害復旧・復興基金を創設します。

被災者支援は「同一災害には同一支援を！」

### 防災等危機管理体制を強化します。

- 災害に強いまちづくりのため、予防行政の徹底化(周知化)を図ります。
- 地域の防災力強化向上と減災のため防災アドバイザー制を導入します。
- 市長の危機管理体制の強化のため本庁近郊に居所を設けることとします。
- 火災・災害の多発を受け、消防団員の要員不足の解消策として、**消防防災出動手当の倍増**を目指します。
- 国の基準に準じた市独自の災害救助基準(条例)を策定します。
- 私の持論である「消防防災署」構想を実現し、防災士機能と連携し予防防災機能を高めます。
- 消防防災力の向上のため、山麓線沿線の人口密集発展地区に消防分遣所の設置を進めます。
- 豪雨時での内水氾濫地区(特に高田地区・直江津地区)の解消に取組みます。
- 初等中等教育における防災に関する総合的な学習活動の充実を図ります。
- 柏崎刈羽原発から安心安全を守る、**原子力災害UPZの有効性を確保**します。

### 《市民の身近な課題をすぐに解決します！》

今「あなたのまち」で困っている課題に直ちに取り組みます。

- 身近な町内道路改良・消雪施設整備・空き家空き地対策・排水路改良・土地利用の規制緩和・安心安全施設整備・通学環境整備・交通アクセス改善など身近な課題です。
- 未利用地活用のための土地利用用途規制の緩和。都市計画道路の新設・廃止見直しを抜本的に進めます。
- 子どもたちの暮らし・学びの環境に不都合なことが無いように取組みます。
- まちづくりの進展促進と防災都市づくりに効果的な「**地籍調査**」(GIS)を直ちに実行します。
- 不都合な下水道整備計画を見直します。(平成町・平山団地・西田中工業団地を追加整備します)**
- 南本町3丁目変則十字路を大町通りへ直線化。本町7丁目変則交差点の改良に取り組みます。
- 大潟区・柿崎区などの養鶏場の悪臭被害対策に積極的に取り組みます。
- 各地区における大戦殉教者慰霊碑に対する管理保存事業の課題整理に取り組みます。



### 《子孫育て・少子化対策》

**1** 異次元の人口増政策「子ども年金」制度(第3子以降月額5万円)を実施するとともに子や孫を育てやすいまちづくりに取り組みます。

「子孫育て都市宣言」を制定します。

- 国が私の「子ども年金制度」の考えを取り入れ、第3子以降の子に対し、高卒(18歳)まで月額3万円を給付することとなりました。市としてこれに2万円を上乗せして月額5万円とします。1万円分は交付税措置されますから、市の負担は1万円となりますが財源的に問題ありません。この政策は出生数の増加政策です。
- 再び「子孫育てするなら上越市」のスローガンの下「子どもの国」を創設するとともに、子育てに係る保育料(含む病児病後児)・医療費・給食費・おむつ代・産前産後ケアなどあらゆる子育て負担の無料化を目指します。
- 三世代交流プラザを整備し、子や孫を育てやすいまちづくりを進めます。
- 空き校舎などを活用し、地域住民の集える場所づくり、地域食堂の経営、地域図書館など、放課後子ども教室などを全市内に整備します。
- 旧上越市内中学校単位に三世代交流プラザを整備します。(例:北本町2ガスタンク跡地など)
- 現在の13区各総合事務所に三世代交流プラザを整備します。
- 多子家族世帯への家族住民税減税制度の導入(優遇税制)、多子家族世帯への表彰制度を制定します。
- 私立幼稚園に幼稚園士制度を導入します。

### 《お年寄りを大切に》

**2** 高齢者(年金生活者等)へのナースコールタウン構想などを進めます。

- 高齢者の通院負担の軽減、緊急事態に備えるため、自宅を病室代わりとして位置づけ、自宅にナースコールボタンを設置し、必要なときに病院及び開業医との連絡がとれる体制システムを構築します。
- 脱介護地獄環境整備へのサポート支援体制の強化(会議人材の育成)をします。
- 遠隔地オンライン診療体制を確立。特に中山間地対策を重視します。
- 運転免許返納高齢者など超高齢者への買い物代行運転代行システムを構築します。
- 市街地循環200円バスを運行(病院・スーパー・商店街など)します。
- 元気高齢者へのリカレント教育など社会参加推進事業を進めます。
- 生涯学習(グラウンドスポーツも含む)を基本とする「高齢者大学」を、古城小学校空き校舎に新設します。
- ポイント付き健康ウォークコース(史跡巡りなど)の整備を進めます。

### 《若者の未来に希望を》

**3** 若者が未来へ生きるために全力で取り組みます。

- 「子ども年金」の実現はもとより、徹底した子育て環境の充実、男性の育休環境の充実(育休取得率50%)を図ります。
- 女性の社会参画を進める体制を強化するためにあらゆる対策を進めます。(女性の管理職30%)
- 若者リーダー育成のため、リーダー塾「奴雁塾」を立ち上げます。
- 高校生時代への支援を強化するため、高田駅前に造る「合同庁舎」内に「高校生広場」を作るとともに、高田駅西口を作ります。
- 学生児童の居場所づくりのため、高田図書館に併設して「自由学習棟」を増設します。
- 学資保険料の減免措置の導入及び奨学金返済免除の拡大を図ります。
- 高校生の通学費用の負担軽減策を講じます。
- 若者文化を振興するため、「アニメ」「マンガ」「デザ

- イン「ストリートアート」でまちおこしに取り組みます。
- 金谷山レールスポーツパーク構想を実現し、スキー・BMX・MTB・スケボー・パンptrack・ボルダリングなどアクティブスポーツの拠点整備を進めます。
- 板倉・光が高原(光原荘、ロジは維持)に若者モトクロス・スノーモービルグラウンド基地を整備し、信越トレイル基地整備で北信越のグラウンドスポーツのメッカにします。
- 若者や、中高年の引きこもり問題への取組に積極的に向き合います。
- 地元の若者の取得する自動車運転免許取得費用に対する補助制度を作ります。

### 《大合併の見直し区制導入》

**4** 大合併の見直しを進め、新しい上越市の姿をつくりまします(区制の導入)。同時にガバナンスの見直しを行います。

- 大きく広くなり過ぎて地域の特性が失われ、人口減少を加速させた大合併後のガバナンスの在り方を見直します。
- 大上越市をブロック化し、頸北ブロックを「頸北区」に・東頸ブロックを「東頸区」に区制を導入し、区長にはそれぞれに副市長クラスを配置し、財源の裏付けのある地域自治の理念を明確にした新たなガバナンス体制を構築します。
- 区長はブロック内の地域協議会メンバーの意見を尊重し、議会承認を経て決定します。
- 各総合事務所をゆくゆくは区役所の「支所」にし、安・近・短行政を行えるようにします。
- 現在の総合事務所棟にJA・郵便局とのワンストップサービスが可能な合同事務所機能を置きます。
- 中郷区を上越市から妙高市へ再編成します。

**5** 地域の活性化のため地域協議会の在り方を見直します。

- 地域協議会委員の構成は、公募委員から半数、地域活動団体(町内会・協議会・振興会など)から半数を推薦選出し、地域ごとに「自前のまちづくり協議会など」を立ち上げ、自主的に配分される予算内で事業を行うこととする。
- 地域協議会委員の構成は、おおむね男女は同数とし、若年層も積極的に登用を図ることとする。
- 地域独自予算制度は廃止し、従来の地域活動支援事業として配分された事業予算内で、一定の支出基準を満たした上で、協議会独自で事業を選定し、自主的に事業を行うこととする。
- 地域協議会委員手当を倍増します。

### 《新幹線駅周辺まちづくり》

**6** 直ちに《かがやき号》を止め、新幹線周辺のまちづくりを大胆に進めます。

- ＝コンパクトタウン「つながる街」のまちづくり＝を進めます。
- 直ちに《かがやき号》の停車を実現するとともに、《あさま号》の始発化を目指します。かがやき号の停車問題はわたくしが市長時代に約束した案件です。
- 新幹線から南高田に向けての都市計画道路をつくり、大規模区画整理事業を実施し、基本コンセプトをコンパクトタウン《つながる街》のまちを念頭に、ホワイトバレー構想を実現させ、公共機関の移転整備ほか首都圏からのビジネス拠点・企業誘致、サテライトキャンパス・オフィス・データセンターなどを誘致します。
- 首都圏大震災の疎開地などに対応した駅周辺のまちづくりを進めます。
- 北信越のビジネス拠点整備に加え、スタートアップ企業の育成とともに官民一体の独自のインテリジェントビル(市が出資)を建設します。
- デジタル田園国家構想を具現化した「デジタルアーバンビレッジ」を複数整備します。
- トミオカホワイト美術館を里帰りさせ、西口妙高山が

- 展望できるポイントに整備します。
- 妙高市との連携による駅づくり及びインバウンド受け
- 新幹線駅周辺に「全天候型多目的ドーム」の建設を調査研究し、多彩なイベント開催も可能にします。
- 新幹線駅構内を拡張：ショッピングモールを拡張充実し、送迎フロアにトイレを設置します。
- 東口謙信公広場に郷土の偉人像(前島密・坂口謹一郎・小林古径・小川未明・川上善兵衛・室幸次郎・吉沢謙吉・荒井賢太郎・増田義一など)を整備し観光案内の一助に活用。

### 《直江津労災病院存続》

**7** 直江津労災病院を、地域医療センター病院として残し、更に充実させます。

- 私が市長時代に国立高田病院を国から市が移譲を受け、上越地域医療センター病院を開院させましたが、直江津労災病院を労働者健康安全機構(国)から市が移譲を受け、上越地域医療センター病院として残し、高齢化社会における地域の医療機関として市が責任をもって病院経営をします。
- 加えて余裕のある病棟の活用としては、民間医療機関の入居を促すとともに、県管理の緊急感染症病棟として一定部分をキープし、更に空き病棟が生じる場合には、開業医を希望する方々の診療所スペースを用意する構想を進めます。
- 現在の地域医療センター病院は、リハビリ専門病院と総合診療科を中心にする高齢者慢性医療病院として充実し、「リハビリパーク(公園化)」として、地域住民が活用しやすいゾーンとして整備します。

### 《加温式消雪パイプ拡大》

**8** 雪国高田の克雪まちづくりを強力に進めます。

- あらゆる狭隘道路の無雪化のため、私が考案した「加温式消雪パイプ」を導入し、暮らしの安心安全を守ります。
- 高田地区市街地の一斉雪下ろしの無い街にします。雁木通りの整備(雁木の連坦化など)。耐雪型耐震型建築物へ改良するために支援します。
- 近年の雁木通りのまちでの火災多発に備えて、空き家空き地を活用した防火帯整備を進めます。
- 儀明川ダム(私が大蔵省時代に採択)の早期完成で流雪溝など消雪用水源を確保します。
- 身近な雪捨て場を十分確保し、住民生活の負担を軽減します。

### 《アクティブスポーツの振興》

**9** 文化・教育・アクティブスポーツの振興を進めます。

- 「トミオカホワイト美術館」を画伯のふるさと雪の高田へ里帰りさせ、文化都市を一層高めます。
- 若者の国際感覚醸成のため、語学力(会話力)が高まる環境整備を進めます。
- 不登校対策などのため校内フリースクール、不登校「特例学校」を整備します。
- 空き校舎を活用として、三世代交流プラザ化(公民館・市営住宅・地域食堂・児童クラブ・高齢倶楽部など)を進め、地域の活性化を図ります。
- 若者が求めるニュースポーツ(アクティブスポーツなど)のメッカを金谷山公園に整備します。
- グランドゴルフ・ピクニックの普及を進めます。

### 《観光資源の整備》

**10** 観光資源の重点化事業を推し進めます

- 高田本町6大町5のエリアを「昭和レトロのまち」へとまちづくりを進め、新たな観光スポットを創造します。
- 高田城の復元を順次進めます。まずは「枳形門」の復元に着手します。同時に本町3丁目に「時の鐘塔」を復元します。



- 春日山城の「総構え」を復元し、隣接地で天守台の見える場所に「観光物産センター・大型レストラン」を整備します。
- 「春日山駅」を「謙信公駅」に名称変更し、春日山城のPRを全国に発信させます。
- 岩の原ワイナリーに「ワイン城」を造ります。

### 《人材育成》

#### 11 様々な人材育成確保対策 (外国人受け入れ)を進めます。

- 医療機関における医師確保対策として**住民税減免・新幹線通勤費助成など医師確保**に取り組みます。
- 医療・介護・福祉関係の人材確保育成にかかわる環境整備に取り組みに支援体制を強化します。
- 上越人材ハイスクールにおける職業訓練体制の強化を図り、更なる「職人」の人材育成に取り組みます。
- 外国人労働者の受け入れ環境の整備を促進するため、上越人材ハイスクールにおいて外国人労働者への日本語教育及び技能研修体制を強化します。
- 外国人労働者の居場所づくりを進めるなど、住民とのコミュニケーションUPを図ります。
- 外国人労働者を求める製造業・建設業・福祉施設・運輸業などに対する支援体制を強化**します。

#### 12 IT人材の確保のため IT高等専門学校を創設します。

- IT人材の育成のため「有恒高校」をIT高等専門学校へと発展的に整備します。
- IT・AI・デジタル・デザインなど多様な人材を生み出す教育を目指します。
- 空き校舎の宮嶋小及び山部小をリニューアルし、学生寮及び起業コワーキングスペースとして活用します。
- 県外からの生徒を募集するため、新幹線駅から学校まで自動運転EV車を運行します。

### 《ふるさと市民制度を創設》

#### 13 新たに「ふるさと市民」制度を立ち上げます。

- 「ふるさと市民」の定義は、上越市出身者で市外に居住する者で、「Jネット」など郷人クラブなどのメンバーに加えて登録希望者を市が認定した者としてします。
- 市外居住の「ふるさと市民」への様々な情報(行政情報など)を提供します。
- 行政サービスへの意見具申など市民活動への参加はできます。
- 「空き家管理」サービス(有料)、墓参代行サービス(有料)などの提供が可能です。
- 出生地域の祭りや棚田農作業への参加を促します。
- ふるさと納税の返礼品優遇サービスを充実します。
- 市外居住学生への様々なサポートサービス・情報提供などを行います。
- 「ふるさと市民」の皆様と繋がる「上越市出身者プラットフォーム」を立ち上げ**ます。

#### 14 全力「ふるさと納税」で地域経済を活性化させます。

- 年間納税額を30億円以上の確保を目指し、地場産業の振興を図ります。
- 「上越米」食味連続10年間特Aを大いに宣伝し、積極的に返礼品に採用し、ふるさと納税額を獲得します。
- メイドイン上越の特産品を返礼品として大いに活用します。また、新たな商品開発に取り組み地場産業の発展に貢献します。

### 《多目的ドーム》

#### 15 「多目的上越ドーム」建設へ再チャレンジします。

- 私と当時の平山知事との間で、100億円で造る約束でありました「多目的上越ドーム」建設に再チャレンジします。

- 利活用としては全天候型野球(高校野球決勝戦可能)・サッカー・テニスなどのスポーツが可能。
- 加えて展示会・コンサート・文化活動・**各種イベント会場**として広く関係者を集結し、交流人口の増加を目指し、「かがやき号」の停車を確実にします。
- 災害時の広域避難所**として活用し、市民の安心安全を守ります。

### 《空き家・空き校舎など対策》

#### 16 空き家・空き地・空き校舎・空き店舗対策

- 空き家等対策特別措置法施行による固定資産税の減免措置(6分の1)が廃止されることを受け、空き家の実態把握及び可能性のある空き家予備軍のリスト作成し、空き家解消計画に取り組みます。
- 雁木通りなど家屋連坦地域に多い空き家対策の実態把握と抜本的な対策を講じます。
- 雁木通りの空き家・空き地対策として**2個1住宅の推進及び防火帯**としての整備を進めます。
- 空き校舎を、三世代(多世代)交流プラザ及び市営住宅へ転用(リノベーション)し地域住民の持続的コミュニティの場づくりに取り組みます。

### 《公の仕事は地元を優先に》

#### 17 公共事業及び公的事業の発注契約は地元事業者を優先にします。

- 公共事業及び公的事業の事業者選定は、地元事業者を優先し地域の活性化を図ります。
- 様々な公的事業の発注契約に当たっては、最低制限価格制度を導入し、**事業執行者の利益が適正に担保**されるように事業の執行を改善します。
- 大合併前後における公的事業の発注契約は、地域性を考慮した公平な事業執行態勢を維持します。

### 《総合事務所をワンストップサービスの拠点に》

#### 18 総合事務所に「地域経営会社(公社)」をつくり、同時に郵便局・JAを併設しワンストップサービスの拠点として整備

- 個人から協働的地域経営システムである「コミュニティカンパニー(公社)」を農山村地域に導入します。
- 概ね小学校及び中学校単位のコミュニティごとに設立し、本社を各総合事務所などに置き、ワンストップサービスを提供できる体制を整備します。
- 参加者は、地権者・農林業者・農業法人・JA・土地改良区・森林組合・郵便局・地縁団体・土建業者・観光業者・行政退職者・都市住民・専門家・常用雇用者・資本参加者縁故者など。
- 農林業を中心とする事業とコミュニティ全体へのワンストップサービス体制をつくり、現行の行政サービスも受託し、自治体からの事業代行交付金を得るシステムにします。
- 特にスマート農林業態勢を重視し、多面的事業の展開で若者の参入を促します。
- 郵便局との業務コラボレーション**を進め、特に中山間地域の「足」代行や「買い物」代行あるいは見守り安否確認など、行政サービスの代行業務を行う体制を整備します。

### 《農都市上越をさらに発展》

#### 19 農業・農村・農民を大切に、持続できる農村社会をつくります。

- コメの減収補填をします。令和5年夏季の災害級の異常高温少雨による**コメの減収補てんを清算**給付します。
- 全国に先駆けて制定した食料農業農村基本条例(農都市条例)を国の基本法の改定に合わせ改定し、儲かる・

得をするイノベーション農林漁業を目指し、新しい時代に相応しい農都市を目指します。

- 農山村の持続可能システムとして、コミュニティ経営会社(共同体)をつくり、農林業の協働体制と様々なコミュニティサービスの提供(行政サービスの代行など)を行えるシステムをつくります。スマート農業は勿論、若者が魅力を持てる新しい農林業をスタートアップさせます。
- DX技術を駆使し、**圃場管理の合理化(名寄せなど)**を進め、耕作受諾し易い農業経営の効率化を図ります。
- 農福連携事業の推進、農福連携サポーター養成事業への支援を強化します。
- 間伐材などバイオマス資源を活用しての「バイオマス発電所」の建設に取り組みます。

#### 20 農山村半農半Xスタイルのコミュニティ社会を創造します。

- 我が上越市は農村と都市が融合した「農都市」です。政策の根本理念はグリーンアメニティ構想にあり。自然・生活・生産の快適調和がとれたまちを目指します。
- 農村の暮らしの豊かさをブラッシュアップし、まちの暮らしも明るく快適な空間を奏できるようにします。
- 農業農村の持つ「食べ物をつくる」「多面的機能」を生かした「モデル農都市上越市」を創ります。
- 農村が輝けば街も輝く、街が輝けば農村も輝く!**の価値観を定着させます。
- 農都市上越での半農半Xは豊かな人生を生み出します。自給自足の理念が保てるように取り組みます。

#### 21 農林水産分野での特産物の振興を図ります。

- 牧区の**イタヤカエデ(メープルシロップ)**の造林を大規模に進めます。
- 正善寺の特産品**ミョウガ栽培の復活**をめざします。また、新たな特産品開発に取り組みます。
- 直江津津港周辺で栽培漁業センターを整備し、減少する**漁業資源(サケ・ウナギ等)**を確保します。

#### 22 中山間地耕作放棄地に対し自然回帰事業を創設します。

- 加速度的に増加する中山間地の耕作放棄地などに対し、国土保全のため、**防災植林を進めるなど自然に回帰させる事業を創設**します。
- 廃屋など放置空き家などに対し公的対策を講じ、美しい山間地へと自然回帰事業を進めます。
- また獣害を防ぐための電気柵の徹底化、熊の好物であるクリ・ドングリの植栽を進めます。

### 《重要インフラ・港整備を促進》

#### 23 政治力を生かし、港・保倉川放水路・上沼道(私の発案で十日町魚沼まで繋げる構想)・儀明川ダム(私が大蔵省時代に新規採択)の早期完成を目指します。

- 三大公共インフラ整備には、大きな政治力と地元住民の熱意を結集させる住民運動が要です。先頭に立って事業の促進に向け、新幹線誘致運動並みに負けず全力で取り組みます。
- 上沼道は東頸城の皆さんの「命の道路」**です。儀明川ダムは高田地区の**「暮らしを守るダム」**です。保倉川放水路は**住民と企業を「災害から守る放水路」**であり、決して住民の分断は避けなければなりません。
- 直江津港に大型ガントリークレーンを導入し海上物流を促進します。
- 長野県域・関東圏を視野に入れた国際物流基地の確保のため、国際ふ頭の建設に取り組みます。
- 長野県域を含めた国際観光振興のため、直江津港に**大型クルーズ船の入港**を促進します。



